

# JAちちぶ自己改革取組宣言

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。

いわば、農業者と地域農業の応援団が、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

そのため、

## これまでも、これからも、地域とともに JAちちぶは総合事業を展開します

- ◇ 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組めます。
- ◇ このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
- ◇ そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

以上、宣言する。

具体的な取り組みは、別紙の次期中期経営計画や自己改革工程表をご覧ください。

主な取り組みを次の3点により紹介します。

### 1. 実需者との多様な契約方式による生産・販売拡大

【2021年度までの達成目標：胡瓜・茄子・ニンニクの契約販売高16百万円】

全農青果ステーション取扱品目の拡大および契約栽培農家戸数の拡大、新規取引先との交渉により、農業生産の拡大および農業者の所得向上を目指します。

## 2. 農産物直売所を通じた農業振興と地域の活性化

【2021年度までの達成目標：直売所販売金額120百万円】

多様な担い手による多品目の生産や収量拡大に向けた研修会や新規作物導入支援、直売所が組合員、地域住民の集まる施設として、地域活性につなげるため、生産者と消費者が交流するイベントを積極的に開催し農産物直売所の売上拡大を目指します。

## 3. 観光農業、特産品のPR活動による農家所得の増大

【2021年までの達成目標：観光農業、特産品のPR活動 毎年30日以上】

秩父地域観光農林業協会、西北部特産協会事務局としてのPR活動ならびに鉄道各社と連携した列車によるPR活動、および県、市町等が主催するイベントへの参加により地元農産物の知名度を高め農家所得の向上に貢献します。

なお、当JAの営農指導事業の主な取り組みは次の通りで、予算額は12百万円となっています。

- ①栽培技術や病害虫防除情報の提供・相談等農業者のニーズに応じた支援を実施します。
- ②生産者の経営改善と発展のため、青色申告支援等の相談活動取組強化を行います。
- ③ウイークエンド農業塾を開催し多様な担い手の育成を図ります。
- ④各種講習会、研修会を通じて女性部活動の啓発と充実を図ります。また、6次産業化にも積極的に取組みます。
- ⑤農業新聞、家の光、広報誌等を活用し、営農情報提供と食農教育を行います。